

知って備える防災メモ

第74回



火山噴火を身近に考える

活火山である『倶多楽』

日本には、2月15日(金)現在で110の活火山があり、そのうち、胆振地方中部に位置する『倶多楽』を含めた50の活火山については、『常時観測火山』に指定されています。

倶多楽の周辺には、地震計や監視カメラなどが設置され、札幌管区気象台が、火山性の地震や噴気の様子などを24時間体制で観測・監視しています。

予想される噴火の現象

気象庁が作成する倶多楽の『噴火シナリオ』では、過去や現在の活動状況から、水蒸気噴火の発生が想定されています。

日和山や大湯沼、登別地獄谷などの火口想定域を中心に、大きな噴石が最大で半径1キロメートル、小さな噴石や火山灰が半径2キロメートルほど飛散することが想定されるほか、大湯沼川やクスリサンベツ川、登別川に泥流が発生する可能性があります。

噴火警戒レベルと市が発令する避難情報

噴火警戒レベルとは、気象庁が火山周辺の住民などに対して、とるべき防災対応を5段階に区分した指標です。倶多楽の火山活動が活発化し、居住地に重大な被害を及ぼす噴火が発生または発生する可能性があるときには、気象庁により特別警報(レベル4または5)が発表されます。このとき、市は、避難勧告や避難指示などを発令しますので、避難が必要な地域と行動を覚えておきましょう。

◎レベルによって市が発令する避難に関する情報

噴火警戒レベル	対象地区	発令情報
4	登別温泉町	『避難準備・高齢者等避難開始』または『避難勧告』を発令
5	登別温泉町と状況により上登別の一部	『避難指示』を発令

▼問い合わせ
総務グループ (☎85 1 1 3 0)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

タンポポ

『タンポポ』は、スポンジテニスの普及と健康づくりを目的として、平成8年に発足したサークルです。

現在のメンバーは60代から80代までの男女20人。毎週月曜日の19時～21時と、月1回程度、土曜日の10時～12時に総合体育館で活動しています。

「スポンジテニスには、年齢やスポーツ経験などに関係なく、誰でも気軽に楽しむことができ、誰でも気軽に楽しむことができ、軽スポーツです」と話すのは代表の武田光廣さん。

武田さんは「初めはスポンジテニスならではのボールの弾み方やラケットを振る力加減に苦労するかもしれませんが、慣れると長くラリーを続けることができ



▲ペアを組みボールを打ち合うメンバー

誰でも気軽に楽しめるスポンジテニスの魅力を、たくさんの人に伝えたい

「できて、良い運動になりますよ」と笑顔で教えてくれました。平成17年に入会した川本彰さんは「運動不足を解消するため、以前にやっていたことのあるスポンジテニスを始めました。勝負にこだわりすぎず、和気あいあいとした明るい雰囲気の中で活動しています。それぞれのペースに合わせて練習できるところも良いですね」と魅力を語ってくれました。

スピーディーなラリーやスマッシュ、巧みなボレーなどで、コートを目いっぱい使いながら、毎週汗を流している『タンポポ』のメンバー。

気軽に運動不足を解消でき、初心者の方も大歓迎です。活動に興味のある方は会員の川本さん(☎88 1 1 1 7)まで。